

## 平成 17 年度当初予算 施策別概要

### 554 港湾の整備

(主担当部局：県土整備部)

- 55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成 (県土整備部)
- 55402 物流機能の充実・強化 (県土整備部)
- 55403 快適な水辺空間の整備 (県土整備部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 港湾利用者が

(意図) 物流・人流拠点や親水空間として利用しやすい港湾になっている。

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
入港船舶総トン数 (5ト以上の船舶) (万トン)	目 標 値	7,970	8,000	8,100	8,200
	実績(見込み)値	7,960	8,000		

四日市港、津松阪港及び尾鷲港他県内17港湾への入港船舶総トン数

#### < 平成17年度に残っている課題 >

海上輸送貨物量の増大、船舶の大型化などに対応した物流機能の充実・強化や人の交流をささえる港湾ネットワークの形成が必要となっています。このため、岸壁や臨港道路などの港湾施設の整備・改良や小型船だまりの整備に取り組む必要があります。

快適な水辺空間としての港湾の魅力アップが必要となっています。このため、港湾緑地の整備に取り組む必要があります。

岸壁等の既存の港湾施設については、老朽化により利用に支障となる施設が増加していることから、機能の維持を図るため、より計画的な維持管理に取り組む必要があります。

四日市港については、伊勢湾スーパー中枢港湾の指定を受けて、今後さらに物流機能の充実・強化や名古屋港等との連携強化が求められています。

#### < 平成17年度の施策の取組方向 >

津松阪港大口地区においては、増大する貨物量や船舶の大型化に対応するため、既存岸壁の増深改良を行い、物流機能の充実・強化を図ります。

鳥羽港佐田浜地区において港湾機能の再生を進めるため、小型船だまりの整備を進め、あわせて観光客が憩い、楽しみ、集う魅力ある空間の形成を図る港湾緑地整備を進めます。

整備した港湾施設の機能を良好な水準に保ち、安全で快適な利用ができるよう、岸壁・航路等の港湾施設に関するデータベースの充実を図り、根本的な対策を含み、より一層経済的で効率的な維持管理を適切に進めます。

四日市港においては、スーパー中枢港湾として、円滑な物流や大規模災害時のリダンダンシーを確保するため、四日市港管理組合と連携して、霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナルの供用や臨港道路の整備とともに、水辺で憩い楽しむ場を提供するため、親水性の高い緑地の整備に努めます。

< 主な事業 >

国補港湾改修事業【基本事業名：55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成】

当初予算額： 1,438,000千円 1,733,000千円

事業概要：津松阪港（大口地区）において、-7.5m岸壁の整備を進めます。鳥羽港（佐田浜地区）において、小型船だまりの整備等を進めます。

港湾緑地一体整備促進事業【基本事業名：55403 快適な水辺空間の整備】

当初予算額： 100,000千円 85,000千円

事業概要：鳥羽港において、港湾緑地の整備を進めます。

港湾施設維持補修事業【基本事業名：55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成】

当初予算額： 158,000千円 114,000千円

事業概要：県管理港湾19港において、港湾施設の機能が十分発揮できるよう施設の維持補修、浚渫、港湾緑地の維持管理を進めます。

四日市港振興事業費【基本事業名：55402 物流機能の充実・強化】

当初予算額： 1,447,947千円 1,653,776千円

事業概要：四日市港管理組合への負担金（霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナルの供用や大規模災害時のリダンダンシーを確保するための臨港道路等の整備等）